

友の会活動の紹介



ミニ企画展示



ハルネギャラリーでの展示

友の会では、ミューズ・フェスタ2019に併せ、3月3日(日)から5月6日(月)まで、博物館情報コーナー(2階ライブラリー入口)にて、ミニ企画展示「友の会会員430名と共に一学芸員や私たちといっしょに自然を楽しみませんか」を開催中です。ここでは友の会活動の主たる活動である講座活動について、8つのグループの活動を紹介しています。

また、小田原地下街「HaRuNe 小田原」のハルネギャラリーにて、3月21日(木・祝)から5月17日(金)まで、「生命の星・地球博物館の裏側展 博物館を楽しもう!」が開催されます。普段、なかなか紹介されない博物館の裏側を特別に大公開!するとともに、友の会活動を紹介します!

ぜひご覧いただき、興味あるグループの講座へ参加したり、また講座を自ら企画するなどして、友の会を通して自然を楽しんでみませんか。

目次

グループ別報告	2
— 事務局より	
— 情報クリップ	
— 企画部より (各グループからの活動報告)	
行事案内	6

事務局より

2018年度友の会第4回役員会の開催

2018年12月15日（土曜日）午後より、発送作業及び第4回友の会役員会を開催しました。

今回は役員に加え、金子さん、北浦さんに参加いただき、発送作業は短時間で終了しました。

役員会では、会員及び会計状況報告、事務局より総会等について（総会は4月28日（日曜日）午後を予定しています）、広報部より友の会通信、企画部より先月行われた講座担当者会議の報告と来年度の講座について、また3月16日・17日に行われるミュージズフェスタでのミニ企画展示について話し合いました。



役員会風景

2018年度友の会第5回役員会の開催

2019年2月2日（土曜日）午後より、発送作業及び第5回友の会役員会を開催しました。

発送作業では会員更新手続きのご案内等があるので時間がかかりましたが、役員に加え、北浦さんに参加いただき、無事終了しました。

役員会では、会員及び会計状況報告、事務局より4月28日（日曜日）開催の総会や総会イベントの概要等について、企画部より来年度の講座スケジュールと3月16日・17日に行われるミュージズフェスタでのミニ企画展示について話し合いました。

情報クリップ

友の会会員数：433名（2019年1月31日現在）

正会員：432名／賛助会員：1名

●会員更新の手続きについて

会員更新の手続きは、お済みですか？2月に振込用紙を発送しておりますので、再度ご確認のうえ、更新の手続きをお願いいたします。

※振込用紙は、次年度の会費をご入金済みの会員様にも送付しております。ご了承ください。

●第23回 友の会総会・イベントのお知らせ

4月28日（日）12時30分から総会イベント、16時00分から友の会総会が開催されます。

友の会イベントは、「身近な自然観察会—入生田の春を楽しむ—」として、地学・植物・昆虫の3分野のいずれかを選択していただいたうえで博物館を出て観察会を行う予定です（雨天中止）。詳細は、友の会の行事一覧チラシ、または友の会ブログなどでご確認ください。どうぞお楽しみに！

開催日：4月28日（日）

開催時間：イベント 12：30～

総会 16：00～（友の会会員）

※受付は、各30分前よりいたします。

開催場所：イベント 博物館周辺

総会 SEISAミュージアムシアター

●企画展「箱根ジオパーク展～身近な火山と友だちになる～」のご案内

開催期間：2019年3月2日（土）～
5月12日（日）

観覧料：無料（常設展は有料）

溶岩及び火山灰の噴出など、40万年にわたる箱根火山の活動を展示するとともに、箱根火山がもたらした雄大な地形・地質や豊かな自然、さらには東西の交流が作りだした歴史文化遺産など合計49の多彩なスポットを持つ「箱根ジオパーク」の魅力を紹介します。

問合せ先：神奈川県立 生命の星・地球博物館

企画普及課 TEL：0465-21-1515

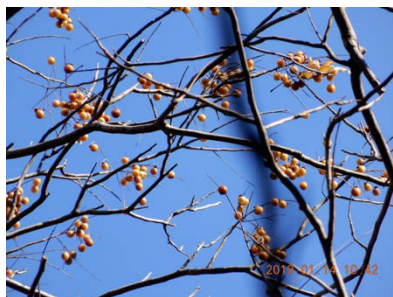
FAX：0465-23-8846

活動報告（植物グループ）

◆植物観察会「新林公園の冬のすがた」

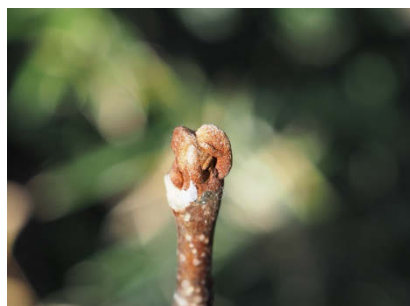
2019年1月14日（月・祝）／藤沢市・新林公園／
42名／講師：勝山輝男学芸員／担当：植物グループ

穏やかな冬の日、カツラの木を囲み冬姿さまざまな説明をいただいた後、大きなムクロジを見上げながらいざ山道へ！秋の台風の塩害で傷つき再び芽吹



青空に輝くムクロジの実

いたコナラは黄や赤に色づいたものがありました。たくさんの側芽を頂いた頂生側芽の冬芽もしっかり観察できました。



ニガキの冬芽

対生と互生、葉痕と托葉痕、鱗芽と裸芽、頂芽と仮頂芽等々ひとつひとつを反芻しながら山道を行けば、先頭の方から木霊のように説明が飛んできて、小気味よく楽しかったです。裸芽のニガキの手を合わせたような姿は道祖神のようではほえましく、ムクノキの年齢を重ね剥がれた樹皮に我が身を重ねました。



群生するオオハナワラビ

オオシバリは蕾、ウグイスカグラは開花、オオハナワラビは胞子を飛ばしていて確実に冬から春に向かっていることを実感しました。ヤナギ類も落とした葉でその存在を教えてくださいましたし、林の向こうの街がみえるような冬ですが、これが「冬姿」ですね。静かさの中にかすかな息づかいを感じる観察会でした。

（藤沢・浅野 牧子）

活動報告（樹木観察基礎講座第2回）

2018年11月17日（土）／場所：横浜市こども植物園／参加者：12名／講師：樹形研究会代表、国立科学博物館名誉研究員 八田洋章氏

八田先生のご専門分野の一つであるヤマボウシについて、これまでの研究成果を研究活動のエピソードも交えて講義していただきました（今回はその2回目）。前半は、スライドを見ながら、後半は、ヤマボウシの枝を実際に観察しながら、お話を伺いました。

美しい画像を見ながら、ヤマボウシに着眼したきっかけに始まり、長い時間をかけて積み上げてこられた研究観察のご苦労・忍耐、そして、観察することの喜びが伝わってくる内容でした。途中、質問も挟みながら、和やかな雰囲気の中で講義は進み、後半は、先生ご持参のヤマボウシの枝を各自観察しました。画像だけでは分かりづらいことも、実際に枝を見ながらご説明いただくと理解しやすく、参加者同士の意見交換も活発で、とても楽しい時間を過ごしました。

「一本の枝でもじっくりと眺めればいろいろなことが見えてくる」という先生の言葉は、先生のご研究そのものであり、又、私たちが樹木を観察する際に心すべきこととして印象に残りました。

（友の会会員 M）



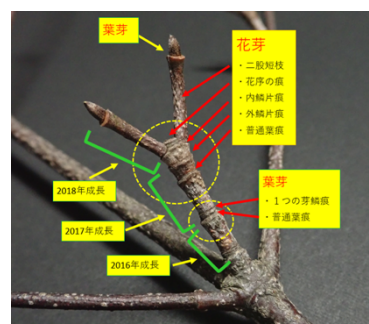
講座風景



ヤマボウシの枝を手に解説中の八田先生



実際のサンプルによる確認では、八田先生を中心に会話ははずみました



活動報告（生物間共生講演会 No.6）

◆私たちと共に生きるウイルス

2018年11月10日（土）／博物館東側講義室／
参加者：17名／講師：生田和史氏（東北医科薬科大学准教授）

ウイルスは怖い、小さくてよくわからない形。そんなものだと思っていたので今回の講座はびっくりでした。



熱意ある生田先生

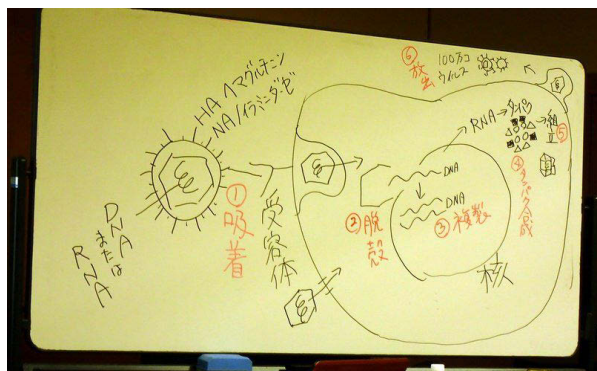
まずどこにでもいること。私たちの体の中にも普通にいて悪さしない。菌類と同じ！と思いました。形が美しいこと。ガラスで作った作品を見て感動でした。カビも美しいけれどウイルスも！細菌も美しかったので、今まで細菌やウイルスはつまらない形と思い込んでいた誤解が消えました。生物は全て美しいということがわかった日でした。・・・ウイルスを生物とした場合。

進化の歴史の中でウイルスは（私の中では）別の位置に追いやられてしまっていたのですが、遺伝子に入り込むが如く進化の歴史の中に入ってきました。ウイルスの構造とどうして薬が効くかを知ることができました。

ヒトゲノムの2%だけが遺伝子であることもびっくりでした。色々なものを取り込んでいるから、ここまで来られたのだと思いました。全部わかりやすく話してくださったので本当に楽しい講義でした。

生田先生、ありがとうございました。

（杉本泉）



板書に魅せられて

活動報告（地学グループ）

◆地学 G 地話懇話会

『三浦縦貫道路の工事露頭について』

2019年1月23日（水）／博物館西講義室／
参加者：24人／笠間友博氏（学芸員）

「三浦縦貫道路頭と宮田層」について、笠間先生の研究の講話でした。昨年2月、地質観察会で三浦縦貫道延伸工事の露出した大露頭を実際に見た方が多く、皆さん興味を持って聞いていました。露頭の画像を見ながら露頭面の読み取りの話がありました。

宮田層の年代は採取した火山灰をジルコン結晶のレーザーアブレーション誘導結合プラズマ質量分析によって、41万年前と判明されたということでした。

宮田層の年代は今までに、ナウマン象化石、ナノ化石、サンゴ化石などから年代測定されていますが、同じような年代結果が得られたということです。41万年前の火山爆発はどんなに大きかったのでしょうか？想像しながら聞きました。笠間先生のもとで、学芸員ボランティアとして火山灰を洗っている私は、宮田層の火山灰を洗っていたこともあり、とても感慨深い講話でした。（金子早智子）



笠間友博 学芸員による地話懇話会風景

活動報告（よろずスタジオ）

「木の実・草の実で楽しい工作」

2018年11月18日（日）／博物館東側講義室／
64名（子供30名、大人34名）／スタッフ7名

11月のよろずスタジオではここ数年、木の実・草の実を使ったリースやコマを作っています。

参加者にはまず木の実・草の実が次に芽生えるところまでどのように運ばれるかについて考えてもらいました。

今年は特に動物にくっついて運ばれる実に注目しました。オオオナモミ、コセンダングサ、ヌスビトハギの実をフェルトにくっつけて、はがしにくさを実感し、実についた毛や刺をルーペなどで確か



“ひっつき虫を観察する”

めました。この毛や刺でしっかりくっつくんですね。

次はいよいよリースづくりです。

使う実を選び、どれをどんなふうに使って私だけのリースを作ろうかと、子供も大人も夢中になりました。（どちらかというと親御さんの方が夢中かな？）また、コマづくりを楽しんだご家族は、作るのはもちろん、コマの回し方もいろいろ工夫して盛り上がっていました。



←出来上がったリースです。スタッフが集めた身近な野山の素材からこんな素敵な作品が出来ました。



“リースを彩る野山の実”

眠った赤ちゃんを抱いたお父さんは帰りがけに「とっても楽しかったです」と声をかけてくださいました。

毎月第3日曜日（予定）午後、皆さんぜひよろずスタジオで楽しいひと時をお過ごしください、お待ちしております。（田畑節子）

「ミツクリザメを見てみよう！」

2018年12月16日（日）／1階東側講義室／247名
（大人157名、子ども90名）／瀬能宏魚類ボランティアの方が学芸員、魚類担当ボランティア、友の会よろずスタッフ6名

テーブルに用意されたサメはミツクリザメ、ラブカ、シロシュモクザメ、ネコザメ、アオザメ、ダルマザメの6種類。さあ、見たり触ったりしてみてね。

本物の鯨を触ってみる

恐る恐る触ると、ざらざらした感触が伝わってくる。皆さん、とにかくあちこちのサメを触ってなでて……。まさしく本物のサメ肌を体感。

好きなサメを見つけて絵にする

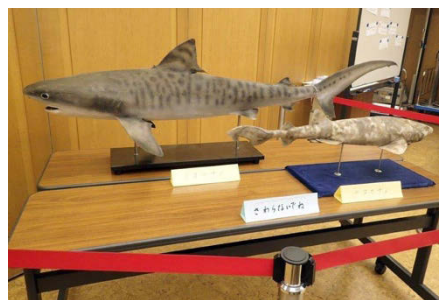
／人気のサメは大きなミツクリザメやラブカ、変な顔をしているシロシュモクザメ、「どこが顔？口の中はどうなっているの？」と。魚類ボランティアの方がそっと口を開けて中を見せてくださる。口の中を熱心に絵にしたり、体の模様を丁寧に書いたり興味満々の箇所はいろいろ。



カグラザメの歯を観察する

上下の歯の形の違いは獲物を捕らえる歯と噛み切る歯の違い、歯の下に準備されているたくさんの歯は今使っている歯がだめになると出てくるそうです。こんな歯を持っているなんてサメはすごいです。

イタチザメとナヌカザメのはく製標本を見たりサメの卵や赤ちゃんのお話を聞いたり、博物館ならではの企画に、気軽に立ち寄った参加者も「またよろずスタジオに来たい！」と、これからの予定を聞いて帰られました。（佐々木あや子）



“イタチザメとナヌカザメの標本”

行事案内

◆ “よろずスタジオ”

対 象：どなたでも参加できます。

申込み：不要／オープン

参加費：無料

「アンモナイトのレプリカを作ろう！」

アンモナイトは大昔に生きていた動物です。博物館の壁にはいろいろなアンモナイトがたくさんいます。アンモナイトを作ったら次はみんなでアンモナイトさがしに行きましょう！

日 時：4月21日（日）13:00～15:00

場 所：1階東講義室

「哺乳類ってどんな動物？」

哺乳類は地球上のさまざまな場所で生活していて、生活の仕方によって見た目はさまざまです。私たちヒトも哺乳類です。

哺乳類にはどんな特徴があるのでしょうか。

一緒に探ってみましょう。

日 時：5月19日（日）13:00～15:00

場 所：1階東講義室

「葉脈標本をつくろう！」

1枚の葉っぱをよく見てみよう。葉っぱはうすいけど、表にも裏にも細いすじがいっぱいあるよ！人の血管のように植物もこの細いすじで水や栄養をすみずみまで送っているよ。

葉っぱにあるすじが葉脈、その葉脈だけを残してよく見えるようにしたのが葉脈標本。

さあ、世界に一つしかない、僕や私の葉脈標本作ってみよう！

日 時：6月16日（日）13:00～15:00

場 所：博物館3階実習実験室

※30分入れ替え制（1時～ 1時30分～ 2時～ 2時30分～の4回）各回24名

◆ 植物観察会

『狭山丘陵の春をたずねて』

六道山公園は都立狭山自然公園の西端に位置し、雑木林や谷戸に豊かな自然が残っています。里山の風景を楽しみながら植物観察をいたします。

日 時：4月23日（火）10:00～14:30

雨天中止

場 所：六道山公園（武蔵村山市）

集 合：六道山公園 里山民家 10:00

解 散：同上 14:30 頃

講 師：田中徳久 学芸員

対 象：大人25名（多数の場合は抽選）

参加費：500円／人（保険・資料等）

締切り：4月4日（木）必着

担 当：友の会植物グループ

連絡先：石井

*詳細は返信はがきにてお知らせします。

◆ 昆虫観察会

『あっ見つけ！春の里山で虫を楽しむ』

新緑の美しい5月の里山で、いろいろな虫との出会いを楽しみませんか。思いがけない場所にいるのを、あっ見つけた！と子供のころに経験した楽しさをもう一度味わいましょう。



観察会風景

日 時：5月15日（水） 9:40～14:20

雨天中止

場 所：足柄上郡中井町

集 合：神奈中バス比奈窪バス停 9:40

小田急秦野駅南口バス乗り場2番から

神奈中バス比奈窪行き終点下車

JR二宮駅バス乗り場1番から

神奈中バス比奈窪行き終点下車

解 散：神奈中バス比奈窪バス停 14:20 頃

講 師：渡辺恭平学芸員

対 象：大人20名（多数抽選）

参加費：400円／人（保険料を含む）

締切り：4月26日（金）必着

担 当：友の会 里山むしてくクラブ

連絡先：金子

*詳細は返信はがきにてお知らせします。

◆ 樹木観察基礎講座

八田先生と樹木観察に行こう ～多摩森林科学園～

これまで、樹木観察のポイントを座学でスライドや、一部サンプルを見て学んできました。今回は野外観察でいろんな樹木を実際に手に取り、花の構造や枝の伸び方などを学びます。樹木の特徴や疑問点など先生を囲んでみなさんで議論し合います。自然の不思議さを体感し、樹木観察の醍醐味を満喫していただきたいと思います。

日 時：5月18日(土) 10:00～15:00

場 所：多摩森林科学園（八王子市）

講 師：八田洋章先生

（樹形研究会代表、国立科学博物館名誉研究員）

募集・対象：25名 中学生以上

（オープン、会員優先）

集 合：園内、森の科学館前 9:45～受付開始

交 通：JR 中央線・京王線の高尾駅。

高尾駅北口改札を出て、徒歩約10分。

参加費：会員 1,000 円／人（謝礼、資料、保険代等）

非会員 1,100 円／人（謝礼、資料、保険代等）

別途、入園料大人 400 円が必要です。

持ち物：筆記用具、ルーペ、昼食、雨具

連絡先：深山

◆ 実習講座

『小さいチャワンタケから菌類ワールドをのぞく』

世の中にキノコは数々ありますが、ほとんど誰にも注目されない可愛い小さいキノコも沢山あるのをご存知ですか？

落枝、落ち葉の上に生きるそれらのキノコの観察実習を通じて、菌類の奥深い世界に迫ります。

日 時：6月1日（土）

時 間：10:30 ～ 15:30（受付 10:15～）

場 所：博物館3階実習実験室

講 師：栃原行人氏（東大大学院）

対 象：オープン 小学校高学年以上 15名

参加費：会員 1,200 円／人

非会員 1,500 円／人

締切り：5月17日(金) 必着

往復はがき又は、メールで

アドレス

赤堀千里

連絡先：

赤堀千里

◆ 植物観察会

『毘沙門海岸の植物』

初夏の潮風を受けながら、ハマエンドウやハマボスなど海辺の植物を観察してみませんか！

日 時：6月12日（水）9:30 ～15:30

雨天中止

場 所：毘沙門海岸（三浦市）

集 合：京浜急行三浦海岸駅 9:30

9時44分発のバスに乗車

解 散：京浜急行三浦海岸駅 15:30頃

講 師：田中徳久学芸員

対 象：大人 25 名（多数の場合は抽選）

参加費：500 円／人（保険・資料等）

締切り：5月24日（金）必着

一部足場の悪い所がありますので、足ごしらえをしっかりとお願いします。

担 当：友の会植物グループ

連絡先：高田

石橋

*詳細は返信はがきにてお知らせします。

◆ 「地話懇話会～地学関連分野の話題を皆で気軽に話し合う～」…第4水曜日／開催月

【6月度】

日 時：6月26日(水) 15:00 ～16:30

（質疑応答時間を含む）

場 所：博物館西側講義室

対 象：友の会々員（原則）の当日来館者

参加費：無料（原則）…但し内容により有料

（保険代、資料代等）

話 題：『房総半島嶺岡帯の地質構造と岩石』

話題提供者：高橋直樹 氏

（千葉県立中央博物館 学芸員）

申込み：不要

*状況により話題(講座内容)等の変更があります。

連絡先(代行)：入江和夫

◆ 『変形菌を探してみよう！』

変形菌は、3ミリほどの大きさですが、不思議な一生を過ごします。博物館近くの山で、かわいい変形菌を探して、顕微鏡で観察してみませんか？



日時：6月29日（土） 10:00～15:30

少雨決行

場所：小田原市入生田・博物館周辺及び
博物館3階実習実験室

講師：萩原博光氏（国立科学博物館名誉研究員）

対象：オープン 子供から大人まで25名
（多いときは抽選あり）

参加費：友の会会員、中学生以下700円／人
高校生以上の友の会非会員800円／人
（保険・資料代）

締切り：6月13日（木）

午前中は採集、午後はお話と顕微鏡観察

採集地は里山です。少々上り坂があります。

*詳細は、返信ハガキでお伝えします。

連絡先：矢野

◆ 植物観察会『玉原の湿原を歩く』

暑さを逃れて爽やかな高原へ。日本海型ブナの森に囲まれた湿原ではヒオウギアヤメ、ミズチドリ、キンコウカなどの花々との出会いを楽しみに。

日時：7月10日（水）7:15～19:00

雨天中止

場所：玉原湿原（群馬県沼田市）

集合：海老名駅小田急線改札口（西口）7:15

解散：海老名駅周辺 19時頃

講師：田中徳久学芸員

対象：大人25名（最小催行人数15名）
（応募者多数の場合抽選）

参加費：8,200円／人（参加者数により変更有）
内900円は講師交通費、下見代など
（締切り後の参加取り消しにはキャンセル料が発生）

締切り：6月25日（火）必着

連絡先：佐々木

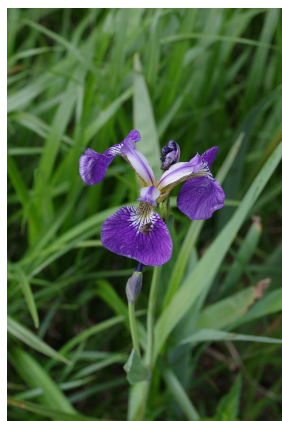
田畑

企画主催：友の会植物グループ

旅行主催：ネイチャートレイル（第2種旅行業者）

*詳細は返信はがきにてお知らせします。

ヒオウギアヤメ➡



友の会主催行事の参加申し込みについて

往復はがきに必要事項を記入して、友の会事務局までお送りください。FAXや電子メールでの受付は原則出来ませんので、ご注意ください（講座によっては可）。ご不明な点は友の会事務局へお問い合わせください。

■必要事項：行事名／開催日／参加者全員の氏名・年齢（学年）／会員番号／代表者の住所・電話番号／指定事項

注意！

■参加費は友の会会員1名分の金額で、内訳は資料代、傷害保険料です。それ以外のものは特記事項に記載があります。バスなど予約が必要な場合、参加者個々に材料を購入する場合などの講座参加確定後のキャンセルは、代わりの方をご紹介いただくか、参加費を負担していただく場合があります。

■オープンの行事は会員以外の方も参加できます（参加費が会員とは異なる場合があります）。

■小学生以下の参加は保護者同伴が原則です。

■チラシの発行されない行事もありますので、直接く連絡先へお問い合わせください。

■持ち物など詳細は返信はがきに記載されます。

—広報部より—

編集作業や新規企画提案など通信作成のお手伝いをしていただけると非常に助かります。お手伝いいただける方は、下記メールアドレスにご連絡ください。よろしくお願いします！

次号は、2019年6月15日発行予定です。

発行：神奈川県立生命の星・地球博物館友の会
Vol.22、No.4、通巻103号 2019.3.15発行

編集：友の会広報部

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499

TEL：0465-21-1515 FAX：0465-23-8846

E-mail：kpmtomo@ybb.ne.jp

Blog：<http://blog.livedoor.jp/kpmtomo>

Twitter：@kpmtomo